

# 中国陶磁うつくし

常盤山文庫と

町田市立博物館が語る



日本人は古くから独特の美意識で中国陶磁を鑑賞し、愛してきました。日本における中国陶磁鑑賞の伝統は、世界に高く評価されています。

本展は、公益財団法人常盤山文庫と町田市立博物館が、中国陶磁の美しさを味わう豊かなひとときを提供しようと企画しました。

町田市立博物館は1992年に山田義雄氏ご遺族から東洋陶磁コレクションを寄贈されたことが契機となって、中国陶磁史の全体を見渡せるコレクションを目指してきました。

公益財団法人常盤山文庫は中国陶磁の名品を所蔵し、日本における鑑賞史に着眼した研究活動を展開しています。なかでも白磁と青磁のコレクションはユニークな存在として知られています。

両コレクションのなかから選びぬいた87件112点は、ひとつひとつに見どころがあります。ゆっくりじっくり中国陶磁をお楽しみください。

- 第I章 冥界の夢 - 俑と明器 - 10件23点
- 第II章 色彩の覚醒 - 白磁と三彩 - 24件27点
- 第III章 湖水の色、天空の色 - 青磁の完成 - 22件23点
- 第IV章 広がる美 - 多彩な展開 - 31件39点

● イベント \*参加には別途入館料が必要です

- ・講演会  
日時：3月21日(月・祝) 午後2時～午後3時30分  
講師：常盤山文庫主任学芸員 佐藤サアラ氏  
演題：「常盤山文庫と中国陶磁」
- ・座談会「女性研究者たちが語る、中国陶磁うつくし」  
日時：5月1日(日) 午後2時～午後3時30分  
講師：常盤山文庫主任学芸員 佐藤サアラ氏  
静嘉堂文庫美術館主任学芸員 長谷川祥子氏  
東京国立博物館研究員 三笠景子氏  
定員：各回50名



佐藤サアラ氏



長谷川祥子氏



三笠景子氏

- ・体験教室「チャレンジ!! 篆刻 - My 印を作ろう -」  
日時：4月17日(日) 午後2時から3時  
5月4日(水・祝) 午後2時から3時  
協力：町田市書道連盟会長 宮本博志氏  
町田市書道連盟理事 齊藤千尋氏  
篆刻家 四壁透氏  
定員：各回20名  
対象：小学5年生以上  
参加費：300円(当日支払い)

- \*いずれも  
会場：町田市立博物館2階講堂(エレベーターはありません)  
申し込み：町田市イベントダイヤル(042-724-5656)で  
3月1日(火)正午から受付、先着順
- \*篆刻体験講座申し込み時には印にしたい漢字1文字を  
合わせてお申し込みください。

- ・ギャラリートーク(展示室での作品解説)、  
各回定員20名(予約不要)  
日時：3月12日(土) / 3月20日(日)  
4月9日(土) / 4月23日(土)  
5月3日(火・祝) / 5月5日(木・祝)  
各回とも午後2時から3時  
講師：4月9日(土) / 5月5日(木・祝)  
常盤山文庫主任学芸員 佐藤サアラ氏  
上記以外 町田市立博物館担当学芸員

● 連携事業

- ・東京国立博物館東洋館特集展示「中国陶磁の技と美」展  
主催：東京国立博物館  
会場：東京国立博物館  
期間：2016年3月15日(火)～5月15日(日)  
問い合わせ先：03-5777-8600(ハローダイヤル)
- ・東京アートアンティーク2016  
主催：東京アートアンティーク実行委員会  
会場：日本橋、京橋地域の美術館・ギャラリー  
期間：2016年4月14日(木)～4月16日(土)  
問い合わせ先：info@tokyoartantiques.com



- ◆ 交通  
小田急線・JR横浜線「町田駅」町田バスセンター7番  
「藤の台団地」行きにて「市立博物館前」下車、徒歩7分
- ◆ 問い合わせ先  
町田市役所 TEL 042-722-3111 (代)

左上から、米色青磁瓶 常盤山文庫 / 青花花鳥文高足杯 町田市立博物館 / 三彩壺・三彩弦文壺・三彩四耳壺 常盤山文庫 / 瑠璃釉褐彩鮮花大手大鉢 常盤山文庫 / 豆彩団花文鉢 町田市立博物館 / 加彩甕 町田市立博物館

**町田市立博物館** たのびに出会う博物館  
**Machida City Museum**  
 〒194-0032 東京都町田市本町田3562 TEL 042-726-1531  
<http://www.city.machida.tokyo.jp/>

2016年5月9日(月)～7月8日(金)は館内整理のため休館です。